

「省エネ市民会議」					
会議年月日	27年4月3日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	難波、新田、山田、松浦、平手、服部、高橋、新美、山田、春田(記) (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				
議 題					
4月度「省エネ市民会議」を開催した。					
1、「水素社会」について考える(事務局:春田) 資料はHPに掲載します。					
①水素社会とこれからのエネルギー(トヨタ自動車) http://toyota.jp/sp/fcv/h2guide/					
MIRAI(燃料電池車) http://toyota.jp/mirai/					
②水素社会の未来像(水素シンポジウム/トーマツ) https://www.youtube.com/watch?v=-2cMXnj9Te4					
③ドイツに見る水素社会(NHK) http://www.nhk.or.jp/kokusaihoudou/archive/2015/01/0120.html					
④国内の水素動向 https://www.kankyo.metro.tokyo.jp/energy/hydrogen/docs/0203-ohga.pdf					
⑤東京都の取り組み http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/energy/hydrogen/docs/0203-tokyo-to2.pdf					
⑥幻の水素社会					
・水素自動車は反エコ(武田邦彦) https://www.youtube.com/watch?v=i26tOs5FH2I					
・水素はエネルギー資源ではない(武田邦彦) https://www.youtube.com/watch?v=c7YBwdfmWd0					
⑦水素社会の課題					
http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/energy/suiso_nenryodenchi/suiso_nenryodenchi_wg/pdf/005					
2. 討議					
・日経によれば、水素エネルギー市場は50年に160兆円と言われている。市場活性化の為に期待したい。					
・水素社会は、経産省が推進する国策であり市民目線では理解出来ない面がある。					
・MIRAI(トヨタの燃料電池車)には200万円の補助金(税金)が出る。格差の拡大ではないか。					
・新しい技術を開発するためには税金を投入する必要がある。現在の水素はこの段階と理解する。					
・水素社会は、省エネ(エネルギー変換効率)、低炭素社会に反する(水素製造過程など)面がある。					
・CO2を排出しない光触媒や再生可能エネルギーによる水素製造に注目していきたい。					
・コスト的に水素エネルギーは普及するか疑問である。(ニワトリと卵の関係?)					
・水素を電気にするのでは無く燃料として使う方が良いのでは。					
・化石燃料—水素製造—燃料電池—電気のサイクルでは無意味。水素利用を電気以外にも考える。					
・ドイツは再生可能エネルギーの安定利用を前面に出しているが日本は自動車利用が強調されている。					
・省エネ市民会議としては省エネ・低炭素化の商品を歓迎したい。					
・新聞・テレビ等で「水素社会」を報道しているが本質を見極める必要がある。					
* 本日の討議では日頃抱いている疑問点が出された。今後も機会があれば議論することとした。					
<次回の予定>					
5月1日(金)13:30~15:30 流山市生涯学習センター(3F)大会議室 テーマ未定 以上					